

# 環境への取り組み

芝浦機械グループは、経営理念・行動基準に基づき、企業の社会的責任（CSR）として、法令遵守・環境調和型製品の提供・事業活動に関わる環境負荷低減に取り組み、持続可能な環境づくりに積極的に貢献します。

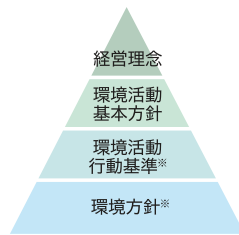


## 環境マネジメント

### 環境活動基本方針

1. “かけがえのない地球”を、健全な状態で次世代に引き継いでいくための環境づくりに積極的に貢献します。
2. 環境に関する国際規格、関係する法令、協定、指針、自主基準等を遵守します。
3. 優れた環境調和型製品の開発・提供を通じて社会に貢献します。
4. 事業活動に関わる環境への負荷の低減、生物多様性の保全等に積極的に取り組みます。

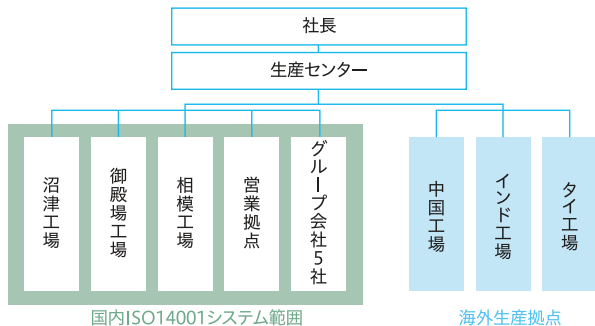
※環境活動行動基準・環境方針についての詳細は当社ホームページをご参照ください。



### 環境マネジメントシステムの強化

グループ一体となった取り組みを実施するため、国内では1996年に沼津工場でISO14001の認証を取得して以来、生産拠点、営業拠点、グループ会社についての認証範囲の統合と拡大を進め、環境マネジメント体制の強化を図っています。海外では2004年に中国工場、2012年にインド工場、2015年にタイ工場が認証取得しました。

またISO14001 2015年度版の移行にも取り組み、2017年度に完了しました。



### 環境マネジメントの有効活用

芝浦機械グループではISOの要求事項を運用レベルまでブレイクダウンした「環境マニュアル」を規定し運用しています。

2019年度はマイクロプラスチック問題解決への貢献活動として、工場で使用するマイクロビーズ入り手洗い洗剤やプラスチックストロー、マドラーの切り替えを完了しました。また、使用済みハブラシをリサイクルする活動として「ハブラシ・リサイクルプログラム」への参加を開始しました。その他、相模工場では神奈川県が取り組む「かながわプラごみゼロ宣言」に賛同し活動を開始しました。今後も環境マネジメントシステムを有効活用し、事業活動に沿った環境活動を進めていきます。

### 環境法令の遵守と苦情対応

各生産拠点では、法律の規制よりも厳しい自主管理基準値を設定し、大気・水域への有害物質排出による環境事故を未然に防ぐよう努めています。

また、環境施設の巡視による管理状況の確認を行なうとともに、届出や報告、基準の遵守などは、内部監査時、適正に行なわれていることを確認しています。

法規制の動向などについては、グループ内で情報を共有しています。2019年度は、気候変動適応法、改正土壌汚染対策法、フロン排出抑制法等の法令改正を共有化しました。加えて、法令の管理レベルの向上を図るため、環境関連資格の積極的な取得にも取り組んでいます。

2019年度はグループ内で近隣住民の方より騒音に関する苦情が2件寄せられましたが、どちらも適切に対応し、以降苦情はありません。

### 環境内部監査

各カンパニー・センターで監査チームを結成し、相互監査の形式で約2ヶ月かけて環境内部監査を実施しています。

内部監査員向けの教育を実施し、監査員の確保、スキルアップに努めています。

2019年度は指摘件数が77件ありました。法令で定められた管理事項の不足が数件あり、遵法義務違反につながる恐れもあるため、2020年度はさらに注意深く、真因に基づいた歯止めがなされているかに重点をおき監査を進めていきます。

### 環境教育・訓練（国内）

階層別教育と職能別教育のそれぞれに対応した教育や訓練を実施しています。

経営層向けとしては外部講師をお招きし、最新の外部状況について講演会を開催しています。2019年度は『プラスチックとESGに関する社会動向と対応』をテーマに講演いただき、社長以下76名が出席しました。

また、工場からの汚染物質の流出など、緊急時に備えた訓練を各部門で実施し、不測の事態に備えています。



環境講演会の様子